

令和 元年 6 月 14 日現在

機関番号：37406

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2018

課題番号：16K04640

研究課題名（和文）フィンランドにおける多文化保育の研究-移民の子どもと生活世界-

研究課題名（英文）Study of the Finnish Multi-Cultural Child Care and Education:Focusing on the Child of the Immigrant

研究代表者

三井 真紀 (MITSUI, MAKI)

九州ルーテル学院大学・人文学部・准教授

研究者番号：80342252

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,500,000円

研究成果の概要（和文）：

本研究の目的は、乳幼児をとりまく多文化化の現状と課題を、フィンランドの保育現場の様相を通して考察することである。とりわけ、フィンランド在住の移民家族と乳幼児の生活環境に注目し、フィールドワークをおこなった。移民の子どもたちの生活世界を切り口に、新しい北欧型多文化保育モデルのありかたを検証した。結果、乳幼児期からの多文化保育の意義と日本社会における多文化保育実践の新しい可能性が明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究は、合計13週間のフィンランドにおける現地調査と、研究期間全体を通して続けた現地協力者への関与（フォローアップ調査等）を中心に進められた。現地調査では、移民家族への個別的・集団的な関与を通して、移民の子どもと生活世界に注目した。データから、民族意識に基づいた日常交渉の場面や、保育文化のコンテクストで表現されるいくつかのパターンを見ることができた。調査内容の検証によって、子どもの社会的背景の理解、移民の中に存在するアンビバレンスの理解が求められている様相が明らかになった。本課題で得られたフィンランドのケースは、日本の多文化保育空間におけるメカニズムを探る手掛かりとしても貢献するであろう。

研究成果の概要（英文）：

The aim of this study is to analyze the problems of Multi-Cultural child care and education through the field work at the Finnish child care sites and from the multiple theoretical view points. This study specially focused on child and life of the immigrant. The meaning of the "New Finnish Multi-Cultural Model" in relation to the possibilities of that of Japanese model in the Multi-Cultural society was then discussed.

研究分野：保育社会学

キーワード：多文化保育 フィンランド 保育 乳幼児 移民 生活世界 こども 多文化





3 6

□ 2018 2018

2018

□ 2017

2017

□ 2017

2017

0 6

0 6

0 6

0 6

0 6

0 6

0 6

2016

2019 6 21

□ □ □

2019 7 6

□ □ □

□

□

□

□

b %